

電解コンビナートの電力を生かした中心市街地活性化の推進（山口県周南市）

取組概要

周南電解コンビナートを構成する株式会社トクヤマの石炭火力自家発電所において発電される安価で安定した電力（中国電力より約3割安）を、特定供給により、隣接する中心市街地の施設に供給し、中心市街地に「ひと」と「しごと」を呼び込む公民連携事業である。

取組の効果

- ①市施設の電気料金削減分の一部を、中心市街地の人口増・税収増を図るための事業等の財源とする。
- ②民間施設等での経済活動により、雇用や居住人口の増加、地価の上昇、市税の増収等が図られ、中心市街地が活性化する。

創意・工夫した点

- ①市施設の電気料金削減額を活性化事業の財源とする点。
- ②企業誘致にあたり、安い電力という市の財政負担がないメリットを打出せ、しかも企業のランニングコスト削減につながる点。

他団体へのアドバイス

産業用電力の余剰分を民生用として活用するものであるが、同様に目的等が異なる等の理由により活用できずにいる地域資源があれば、その転用・利用を検討されてはいかがか。

人口 147,005人
担当 中心市街地整備課



株式会社トクヤマとの連携の共同声明

